

小倉・黒崎のまちづくり戦略（たたき台）について

1 概要

- ・ A I 革命や D X ・ G X の加速などの世界的な潮流の変化の中にあって、技術やエネルギーの集積、投資やオフィス等の需要増のトレンドに加え、老朽化に伴う建替え需要増などが重なり、今、北九州市の投資価値は大きく上昇している。
- ・ これを「暮らしと街の飛躍」のチャンスと捉え、北九州市・新ビジョンに掲げる目指す都市像の実現を図るため、次世代のまちづくりと民間投資の呼び込みに向けた戦略「北九州2043」を策定する。今回はその戦略のたたき台について報告するもの。

2 主な内容

- ・ 小倉・黒崎を市全体の価値向上に向けた「起点エリア」に位置付け、それぞれ「小倉ブースト」、「黒崎リバイバル」を展開。
- ・ 「フィジカル A I」「エンタメ／カルチャー」「アーバンネイチャー」を3つの推進力とし、さらに強力な規制緩和や公的サポートを行うことで、戦略的な民間投資の呼び込みを図る。
- ・ 小倉・黒崎で生まれた経済効果や活力を、市内各地に波及させることで、市全体の価値を高め、さらなる投資の呼び込みと暮らしの質の向上を生む好循環を創出。

小倉ブースト ～創造の拠点～

- ・ 「世界で最も早くアイデアが実装されるまち」を目指す。
- ・ 3つのエリア（B a y , C i t y , R i v e r）を連動させることで、「創造の循環」を創出し、エリア全体の価値を高めていく。

黒崎リバイバル ～未来の生活モデルの拠点～

- ・ 「20年先の暮らしを、10年早く実現するまち」を目指す。
- ・ 職住近接の強みを活かし、まち全体をシームレスにつなぐことで、一つの生活圏として再構築する。

※詳細は別添資料のとおり

3 今後の進め方

- ・ 有識者や次世代を担う若者で構成する「（仮称）次世代まちづくり構想会議」で議論を深め、令和8年度末を目途にとりまとめ予定。
- ・ また、民間投資を呼び込むには、本戦略に対する市民の理解・共感が不可欠であることから、市民アンケートや分野別ダイアログを通じて、幅広く市民の意見を聴き、反映していく。